

公民館情報

紙芝居読み聞かせコーナーを 設置しました

北浦公民館の図書室内に、紙芝居コーナーを設置しました。

たくさんの素敵な紙芝居をご用意してお待ちしておりますので、秋の夜長に昔懐かしい紙芝居で、お子さんとの楽しいひとときを過ごしてみたいかがでしょうか？子育て中の皆さんや興味のある方など、たくさんの方のご利用をお待ちしております♪



【問】 北浦公民館 ☎ 0291-35-3777

歌碑や文学活動の足跡を巡る旅 8

洞海舎 河野 涼谷

名月も昨日になりぬ峰の松

所在地：行方市内宿化蘇沼稻荷神社境内



洞海舎河野涼谷（本名：河野新之右衛門）は、水戸藩の支藩守山藩領の行方郡帆津倉村に宝暦12年（1762年）に生まれました。

その頃の関東各所、特に銚子から野田にかけての利根川沿岸では、利根川の水運を生かして醸造業が栄えており、利根川に続く常陸の北浦沿岸も同様でした。生家河野家はその醸造業繁栄圏に位置しており、村の名主を務めながら醤油醸造業も営んでいました。

大店の主である涼谷は、芭蕉や親交のあった一茶のような職業俳人（業俳）ではなく、俳諧を趣味として楽しんだいわゆる遊俳であり、その仲間も句会や業俳との交流を楽しむ趣味人でありました。

その中でも特に涼谷は、洞海舎社中をまとめながら、句会の開催、句集の編集と発行、江戸の業俳との交流会や接待を精力的に行う遊俳の一典型とも言えます。

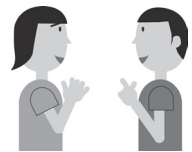
文化から天保期にかけての北浦湖岸の俳諧圏は、少なくとも四十村二百人の俳人を数えるほどに大きな俳諧圏を築いており、中でも洞海舎同人を中心とした帆津倉俳壇の活躍は地方稀なる盛況と書き残されています。（文責：行方市教育委員会生涯学習課）

※「常陸 俳諧散歩～活躍する遊俳たち～」(中根誠著)「郷土北浦 北浦村の俳句について」(白雲著)を参考にしています。

【問】 生涯学習課文化・社会教育グループ ☎ 0291-35-2111

はい、こちら行方市消費生活センター！

オンラインサロンでのもうけ話にご注意を！！



【事例】

SNSで知り合った人から「簡単に稼げる方法を教える」とDM(ダイレクトメッセージ)が届き、無料通話アプリで相手に連絡した。そこで「ブログでアフィリエイト収入が得られる」「入会すればビジネススキルを情報商材で提供するので、オンラインサロンで勉強でき、毎月の支払い分は在宅で稼げる」等と勧められ、約30万円でオンラインサロンへ入会することにした。契約書は、ウェブ会議のやり取りで作成して交付された。実際にブログを始めたが「オンラインサロンの人が〇万円稼げました」などと偽りの発信を指示されるようになり、また、内容も稼げるものではないことが分かった。解約して返金してほしい。

【解説】

全国の消費生活センター等には、以前から「スマホで簡単にもうかる」「不労所得で豊かに生活ができる」とお金もうけのノウハウを伝える等と勧誘され、情報商材やノウハウを教わるサポートの契約をして、トラブルになったという相談が寄せられています。最近では、近年利用者が増えている「オンラインサロン」をノウハウを伝えるツールまたはサロン自体をもうける手段として利用している手口がみられます。

以下のポイントをおさえておきましょう。

- ① 確実にもうかる話はありません。「簡単にもうかる」「元が取れる」などの勧誘文句をうのみにせず、安易にコンタクトを取らないようにしましょう。
- ② 人に紹介するよう言われた等、話が違ふと思ったら、きっぱりと契約を断りましょう
- ③ 契約前に、契約条件や運営事業者の会社名、住所、電話番号を確認しておきましょう。トラブルに備えて、チャットやメール等のやり取りの記録も残しておきましょう。

何か分からないことやトラブルにあった場合は、一人で悩まず行方市消費生活センターに相談してください。

— まずはお電話を！ —

【問い合わせ】 行方市消費生活センター ☎ 0291-34-6446